
桜吹雪

寿々

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

桜吹雪

【Zコード】

N8172A

【作者名】

寿々

【あらすじ】

日番谷冬獅郎メインの話。市丸が日番谷をねりつてゐる・・?つい
いうかんじの薄くぼーが入った話。

(前書き)

話の内容がかみ合ってないかも知れませんので
そじさんとに警戒して読んでください・・

「二二」は十番隊の隊舎

ここにいるのはその名のとおり、十番隊の連中。

そして、十番隊隊長、田番谷冬獅郎。

「おーい。松本・・・」この報告書、どうなつてゐるんだ・・・」

田番谷が副隊長の松本乱菊に聞く。

「どうして、報告書は報告書ですよ?」

「モージヤねえ、なんか濡れてて読めねえじやねえか・・・。つて・・・

あーお前もしかしてまた十一番隊の奴らと酒を・・・!？」

「ちがいますー。十一番隊じやありませーん」

「ほーお・・・。じゃ、二二の隊と飲んでたんだよ・・・」

「たしかあ・・・」

「三番隊やろ」

扉にもたれかかった姿で現れたのは三番隊隊長市丸ギンだった。

「市丸・・・てめえなんの用で来た」

市丸は肩をすくめて、狐のような目で、田番谷を見た。

「べつにー。ちょっと通りかかつただけですわー」

その言い方が気に入らなかつたのか田番谷はさきひとつ田をむいて、市丸をにらみつけた。

「そんな怖い顔せんでもええやないのー」

「つるつせえ・・・。副隊長も連れずにこいつに来る理由なんざねえだらうが」

「そんなことはないで。理由ならちやんとある」

にやにやした市丸がますます気に入らなくなつた田番谷は、机を叩いて退場命令をだした。

「こますぐでてけ!!!!馬鹿野郎!!!!」

これにはさすがの市丸もちょっと驚いたみたいだ。市丸の隣で、市丸以上にびっくりしている乱菊の姿があつた。

「そないに大きい声で怒鳴らんでもええやないの。十番隊長さんは怖いわあ・・・ほな、帰らしてもらおか」

おや田わづとした市丸は思ひ出したよいかにいりあちに向かひて足を

止
め
た

「ボケがここにきた理由って知りたい?」

ハン。
んなもん知りたくねえよ」

「そつか、残念やなあ！」

ほんとに残念そうな顔をして市丸は出て行つた。田畠谷はせいせい

「・・・・・」

「あ？ どうした。松本上

乱菊はソファーに座つてちょっとと考えた。

「いや、ギン・・じやなくて市丸隊長が何で来たかをですね・・」

「隊長がアドバイジヤなーでしょ？ つか？」

日番谷は持っていた湯のみを落としそうになった。慌てて机の上に

置ぐと呪縛の壁をもって田を真ん丸くさせた

「國語」卷之三十一

「てめえ・・・俺をからかってるだろ・・・」

ええ、しておせんよお、そんなん！」

「おけ！」

「あ・・・桜咲いてますよ」

乱菊の言つとおり、外には桜が満開だつた。

ギン・・ジゼなにや、市丸隊長と見た桜もきれいだつたな……」

その横顔を見てちょっと反省した日番谷は気まずそうな顔をした。

「じょーだんですよ〜〜だ！」

「はあ！？」

意地悪そうに笑った乱菊はまたソファーのまづへ戻つていった。

「だつて一緒に桜なんか見てませんもーん」

「あ〜〜も〜〜すん」ぐいライライする！――

「あははははつ！――」

「笑うんじゃねえッ」

疲れたな・・・

つたく・・市丸のヤロウ・・

でも、松本が言つてたことは本當かもしれない。

じやあ、俺はどうしたら良いんだ？――

まあ、普通に接してりや何にも問題は起きないはず・・・たぶん

ああ、やつぱり疲れた。

もう少しあと桜を見てたかつたけど、寝るか

・・・風が荒ってきた

桜の花びらが飛んでいく

俺の今の気持ちみたいだ

ぐちゃぐちゃ、気持ち悪い、騒ぎすぎたな

「じゃ、俺寝るから」

「はいはー」

「十一番隊と酒飲むなよ」

「たぶん〜〜ですね」

桜が散る

風に乗つて

俺らもいつか

散るんだろうか

桜吹雪

(後書き)

あああーー

最後の詩っぽいものに意味はあったのか！？
と思われてそうで怖い・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8172a/>

桜吹雪

2010年10月9日17時45分発行